

河港のまち 角間川ルネサンス

～雄物川舟運の歴史文化を活かしたまちづくり～

秋田県 大仙市

角間川地域活性化協議会



喜びの声



受賞者
角間川地域活性化協議会
会長
古谷 武美

コメント

名誉ある賞をいただきありがとうございます。
角間川地域活性化協議会を立ち上げたことにより、地域の皆様の考えが少しずつ変わってきたように思います。地域の皆様が同じ思いとなっている今を大事にしなが、今後の活動と、更なる地域の賑わいづくりにつなげていきたいと思ひます。
本当にありがとうございました。

活動の内容

- まちづくりに関する講演会やパネル討論会の開催
- 旧家邸宅群や浜倉を会場としたイベントの開催
- 地元大学と連携したインバウンド視察事業
- HP・フェイスブックによる歴史やイベント等の情報発信
- 歴史まち歩きや旧家邸宅公開でのボランティアガイド活動

活動の経歴

- 平成 27 年 角間川地域活性化協議会設立
インバウンド視察事業開始(～29年まで)
イルミネーション花火・音楽祭開始
- 平成 28 年 HP・フェイスブックを開設
- 令和 元 年 旧家邸宅ガイド活動開始

3 活動の成果や波及効果等

毎年、浜倉でイルミネーション花火や音楽祭を開催し、市内外から約600人が訪れています。また、旧家邸宅の公開時にはガイドや企画展、演奏会等を開催し、延べ300人以上が来場し、賑わいを創出しました。

旧家邸宅群の保存要望活動により市がまちづくり事業基本計画を策定し、三家の保存(公有化)が実現しました。今では、この邸宅群が地元小中学生の郷土学習の場となり、清掃ボランティア活動も行われる等、郷土愛が醸成されるようになりました。



浜倉での
イルミネーション花火



浜倉での
クリスマス音楽祭



旧家邸宅での
三味線演奏会



小学生の郷土学習



地元小学生の
清掃ボランティア

●所在地

秋田県大仙市角間川町字西中上町19番地
ほか

●活動主体及び連絡先

角間川地域活性化協議会
(0187-65-2477(株)フルヤモールド内)
(仮称)角間川・川のまち歴史交流の杜
(旧家邸宅群)、及び浜倉と河港跡、
一級河川雄物川水系横手川「川港親水公園」
※管理者:大仙市

●対象となる社会資本



1 社会資本の概要

「大曲の花火」で知られる大仙市大曲地域の角間川(かくながわ)地区は、秋田県の内陸南部に広がる国内有数の穀倉地帯である横手盆地の中央部に所在し、盆地西縁を北流する「秋田の母なる川」一級河川雄物川と、その支流の横手川の合流点に位置します。

同地区は藩政期から明治期にかけて、東北地方を代表する舟運の一つである雄物川舟運の中核的な

中継河港として大いに繁栄したことから、貴重な文化財が多数残されています。大仙市のみならず秋田県の歴史を語る上で欠かすことのできない旧家



角間川地区の位置図

(旧大地主)三家の邸宅群「旧家邸宅群(旧大地主)三家の邸宅群(旧北島家住宅・旧荒川家住宅)が良好に残っており、また、現存する明治期の浜倉2棟を含めた河港跡が横手川の改修に合わせて川港親水公園として整備されています。



保存整備した旧家邸宅(旧荒川家住宅)



保存整備した2棟の浜倉(明治5年建築)

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

地域の人口減少、商業の衰退、空き家問題、歴史的文化遺産の保存と伝承等の課題を解決するために住民自らが立ち上がり、平成27年に「角間川地域活性化協議会」を設立し、地域活性化事業を開始しました。

まず歴史や文化資源(祭り・食等)といった地域の魅力をまとめ、その内容をHPやフェイスブックを開設して情報発信しました。同時にまちづくり講演会や

パネル討論会を開催し、まちづくりについて学び、地域住民と意見を交換しました。

国際教養大学(秋田市)等と連携して外国人留学生のモニターツアーを行ったインバウンド視察事業は、先進的な取組と評価されています。またボランティアガイドを養成し、国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に認定されているフットパスルートを活用した歴史まち歩き等、独自の取組を行っています。



浜倉でのまちづくり講演会
(歴史講座)



インバウンド視察事業
(茶道体験)



フットパスルート(角間川歴史のこみち)を活用した歴史まち歩き